

ここすき！特別企画 幼稚園に行ってきました！

国立文化幼稚園 訪問インタビュー

国立文化幼稚園は、南部地域ののどかな田園地帯に、昭和41年に開園しました。現在の園長先生の祖父にあたる大久保龍氏が杉並区、府中市に続いて3園目の幼稚園として、建てられました。“子どもが第一、子どもが幸せでなければ”との考えのもと、畑や田んぼが広がっていたこの土地に幼稚園を建てたのだそうです。

教育目標

子どもの自由を認め、のびのびと育てます。

人と協力する社会性と、自立心を育てます。

創造性と探究心を持ち、じっくり努力する子どもを育てます。



園の特色としては、長く導入しているモンテッソーリ教育と、リトミックに尽きるとのお話でした。一人ひとりに目が行き届く複数担任制で異年齢交流も行なっています。

将棋の藤井聡太七段がモンテッソーリ教育を取り入れていた幼稚園に通っていたこともあり、最近ずいぶん注目を浴びているそうです。府中との市境にあるため、府中からのお子さんも多いそうですが、モンテッソーリの教育内容に魅かれて、近隣の日野、国分寺、立川から通ってくるお子さんも増えているとのことでした。

幼稚園での生活は、全てモンテッソーリの教えに基づいて行われ、その日に自分のやるべきことを自分で決めて取り組むことや、異年齢の子どもたちとの関わりの中で、生活力も含め自然と力が身につくのだそうです。その中の“文化”という領域では、年長児が地理、歴史の内容について学ぶのですが、「宇宙誕生の歴史から入り、地球、世界からアジア、その中の日本、関東、東京、そして今住んでいる国立にまでたどりつき、最後には郷土資料館に見学に行くんです」とのお話でした。

ヨーロッパではモンテッソーリを取り入れた小学校もあり、園長先生としては、幼稚園だけでなく、小学校教育にまでつなげていきたいと考えていますが、日本の教育のしくみの中では実現が難しいと嘆いていました。訪問した時期は、クリスマス会の行事が近づいており、年長児が歌や合奏の練習をしていました。日常からリトミックに取り組んでいるせいか、リズム感の良さが感じられ、堂々とした演奏でした。

国立の中でも先駆けて2歳児保育を行っており、2歳児室には、テーブルの上にモンテッソーリの教具がたくさん用意されていました。「自分の好きなところで、お仕事と呼ばれる活動をします。2歳児でも、時にはナイフを使ってバナナやリンゴを切ったりもするんですよ。」とのこと。生活習慣もそうした活動を通して身につくとのことでした。



雑巾を絞るのも上手でした

一般の方に向けてのモンテッソーリの勉強会も行っています。お母さん方にもその教えの良さを理解してもらい、園の中だけでなく、家庭でもこうあってほしいということを伝えているそうです。

また、自然や動物の飼育を大事にされている様子が伺えました。園の周りには田んぼが多く、周辺に散歩に行ったり、谷保天満宮に梅を見に行ったり、園の隣の畑でジャガイモを育て、ジャガイモ掘りを楽しんでいます。また、門を入ってすぐ左手に飼育小屋があり、天然記念物のちゃぼや、うさぎを飼っていたり、園舎内にも、金魚やインコなど、さまざまな小動物を飼っていて、園児たちが世話をしています。



みんなでお世話しているインコ、ちゃぼ、うさぎ

茂田園長先生ご自身は、音楽が好きで大学でリトミックを学び、リトミックの講師として文化幼稚園に入られたそうです。園長になってからも、子どもたちにリトミックを教えたり、また、リトミックの研修会にも参加しているとのこと。元気な子どもたちと向き合うために、体力作りは欠かせないそうで、毎朝のウォーキングや、ジムで身体を鍛えているそうです。この仕事に就いて感動したことは、何と言っても子ども達の成長で、子どもたちからパワーをもらっていると語っていました。



6月に開催した幼稚園フェア時の園長先生

幼稚園の先生たちは、20年近く続けられている方が多いそうで、夏の時期には全員で研修会に参加するなど、モンテッソーリ教育を追求されている方ばかり。先生たちが変わらずにいてくれるのは、保護者や卒園児にとってもうれしいことですね。園長先生は、4年に一度開かれるモンテッソーリの国際大会にアメリカやプラハに行かれ、世界に出ていく度に、(幼児教育における)日本の位置や弱さを実感させられるそうです。モンテッソーリとリトミック以外にも、コダーイやフレーベル、レッジョ・エミリア・・・など、様々な幼児教育についても学んだけれど、やはりこの2つ以上のものはみつからないと、強い信念が伺えました。

行政が、前よりも幼児教育に目を向け始めてくれたことはよかったとしながらも、今後は小学校との連携がもっとスムーズに行えるように、かけはしになってほしいとのことでした。卒園後の子どもたちの様子は気になることであり、それがわかると、自分たちの保育にも役立てると考えています。小学校との風通しを良くしたいとおっしゃっていました。学校教育についても、先生たちがもっとゆとりを持って子どもたちと関われるようなシステムになるよう、行政が力を入れて欲しいと、最後まで熱く語っておられました。



← 2歳児のお部屋

※幼稚園のホームページは市役所ホームページからもご覧になれます。

国立市ホームページ→子育て支援ページ→子どもを預ける→幼稚園→国立市幼稚園等一覧